

留 学 報 告 書

記入日: 2020年01月23日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部 国際日本学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: サンフランシスコ州立大学 現地言語: San Francisco State University
留学期間	2019年08月～2020年01月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2020年1月07日
明治大学卒業予定年	2021年03月
留 学 先 大 学 に つ い て	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月下旬～1月上旬 2学期:1月下旬～5月下旬 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	約30000人
創立年	1899年

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
授業料	0	0円	協定留学のため
宿舍費	6000ドル	650000円	月約15万(寮)
食費	2000ドル	200000円	ミールプランはありますが、自炊もしました
図書費	0	0円	
学用品費	300ドル	31000円	教科書代
携帯・インターネット費	30ドル	3100円	SIMカードを日本で買っていきました
現地交通費		円	大学の学生証がクリッパーカードとして市内のメトロバス、地下鉄を無料で乗車できます(<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	1000ドル	100000円	
被服費		円	
医療費	0	0円	
保険費	1300ドル	130000円	形態:現地の大学保険約10万、明治大学保険約3万
渡航旅費	2000ドル	200000円	片道ずつ購入(帰りはロサンゼルス発)
ビザ申請費	160ドル	17000円	J1ビザ
雑費	500ドル	50000円	
その他		円	
その他		円	
合計	13290ドル	1333000円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地:羽田空港 目的地:サンフランシスコ州立大学 経由地:仁川国際空港 復路 出発地:ロサンゼルス空港 目的地:成田空港 経由地:	
渡航費用	
①往復チケットを購入した場合 航空会社: _____ 料金: _____	
②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: アシアナ航空、ユナイテッド航空 料金:15万 復路 航空会社: ANA 料金:5万 ∴合計:20万	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: _____) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:スカスカナー) <input type="checkbox"/> その他(_____)	
滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:village at centennial square) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 5)	
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)住居を探した方法:	
大学からの斡旋	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
新しい方なのでわりと綺麗です	
現地情報	
1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所: _____)	
2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等: _____)	
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?	
夜は大学内の敷地内でも危険だと現地の学生に聞いたので1人で出歩かないように気を付けました。	
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	
寮や大学内のWi-Fiは問題ありません。	
5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)	
現地での銀行口座は開設せず、アメリカでも日本の口座からそのままドルを引き出せたため、日本の口座に入金してらっていました。不便はありませんが、1学期以上滞在するのであれば現地の口座があると便利だと思います。(友人と割り勘する際に現金ではなく、電子マネーで送金するのが主流であったため)	
6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。	
風邪薬(ジャバントウンがりあり、日本のスーパー、ダイソーがあるので基本的には何でも入手できます)	
7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。	

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 12 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか? 最低 4 科目	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Hospitality tourism management	
科目設置学部・研究科	
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Dr. Ergul
授業内容	ホスピタリティの基礎から学べます。ディスカッションというより講義形式です
試験・課題など	オンラインの課題が毎週あります。その他エッセイの課題が 1 学期に 2 つありました。
感想を自由記入	基本的な内容なので難しくありません。ホスピタリティやサービス事業を学びたい人におすすめです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Impact of journalism	
科目設置学部・研究科	
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 165 分が1回
担当教授	Jesse Garnier
授業内容	ジャーナリズム、メディアが社会に与える影響について。2時間45分と講義時間が長く、授業内容の難易度も高いです。
試験・課題など	1000words のエッセイが1学期間で3つありました。小テスト2回と一回の期末テストです
感想を自由記入	最もやりごたえのある授業でした。グループワークもありました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Microeconomic analysis	
科目設置学部・研究科	
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に65分が2回
担当教授	Chang Hyung Lee
授業内容	経済学。需要と供給など基本的な部分を学べます。
試験・課題など	オンラインの課題が毎週出ます。短いエッセイの課題は3回出ました。
感想を自由記入	

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など

3) 就職を選択した方は, 差し支えなければ内定先を教えてください。また, その企業を選んだ理由も教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず, 就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

5) 進学を選択した方は, 差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は, その進路を選択した理由と, 留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

2018年 1月～3月	語学試験の勉強
4月～7月	語学試験の勉強
8月～9月	語学試験の勉強
10月～12月	留学申請、面接、合格通知
2019年 1月～3月	
4月～7月	ビザ取得、航空券購入、留学先履修登録、寮申請、予防接種
8月～9月	留学開始
10月～12月	中間試験、期末試験
2020年 1月～3月	帰国
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

さまざまな文化背景をもつ学生が集まる地域を希望しており、また LGBTQ についても本学で学んでいたため、サンフランシスコを選びました。あとは、住みやすい気候も重視して選びました。秋学期のサンフランシスコは晴れの日が多く、湿度も低く非常に過ごしやすかったです。12月あたりから雨期に入りますが、それでも滞在中傘を使ったのは数回でした。観光地はどれほど多くありませんが、市内を回るのは飽きません。ゲイフレンドリーな街やストリートを感じられる街などさまざまな雰囲気を楽しむことができます。意外にも日本食レストランや日本のお店もあるので日本食が恋しくなっても問題はありませんでした。とてもおすすめの大学ですが、地域として物価が高いです。特に家賃は高いので注意してください。